

【資料 2】

参考事例調查 | 新交流拠点

地方自治体の所有施設は、公共発注 + 指定管理者方式により整備・運営されている。
自衛隊や飛行場を活かした施設特性を有しているのは、浜松エアパーク・soraかさいである

参考事例における機能・施設比較（1/5）

第2回策定委員会資料より抜粋

	導入機能等	浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	青森県立三沢航空科学館
事業主体	所有	防衛省	石川県	加西市	青森県
	運営等	防衛省	小松市まちづくり市民財団	神姫バスグループ共同事業体 (代表: 神姫バス(株))	ジャンプアップみさわ (代表: 育栄管財(株))
事業手法	公共発注 + 直営	公共発注 + 指定管理者制度	公共発注 + 指定管理者制度	公共発注 + 指定管理者制度	公共発注 + 指定管理者制度
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	×	×	×	×
		※未整備	※未整備	※未整備	※未整備
	水と緑の憩いの場としての機能	×	×	×	×
		※未整備	※未整備	※未整備	※未整備
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	◎	×	×	×
		航空自衛隊の広報施設として位置づけ	自衛隊との交流に資する機能やイベントが見られない	開催イベントは見られない	自衛隊関連の展示や開催イベントは見られない
	基地機能に係る様々な情報の理解の場としての機能	◎	△	◎	△
		<ul style="list-style-type: none"> 現役パイロットによる操縦講座や地上滑走訓練、職種紹介等関連イベント多数 自衛隊関連の上映、展示有 体験型シミュレーター有 	<ul style="list-style-type: none"> 実物大の航空機模型 姫路海軍航空隊としての保有技術や歴史を展示有 鶴野飛行場滑走路跡や防空壕跡を巡るツアー有 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型シミュレーター有 三沢基地航空祭開催 	

2 ※施設や機能としての充実度について、◎→○→△→×にて優先順位付け

いずれの施設でも、航空機の展示機能や体験機能、カフェ等滞在機能を有しているが、オリジナル商品の販売、ツアーやキャラクターを使用したイベント等により差別化を図っている

参考事例における機能・施設比較（2/5）

第2回策定委員会資料より抜粋

	導入機能等	浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	青森県立三沢航空科学館
市民との交流の場づくり と自衛隊員など	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	◎ • 自衛隊含む航空関連の上映、展示有 • 図書コーナーも整備	○ • 航空機の展示は充実 • 航空機の歴史や飛行原理を学ぶ機能・機会は有 • 上映や図書機能等は整備されておらず	○ 姫路海軍航空隊の特別攻撃隊「白鷺隊」の隊員の遺書を紹介する約20分の映像を上映	◎ 様々な航空機の展示だけでなく、パイロット体験、飛行機の仕組みや揚力等物理学を学ぶ教室・イベントが多数
多様な人々を迎える場づくり	観光交流を支援する機能 魅力を発信する機能	○ • 浜松飛行場に隣接する立地を生かした展望ラウンジ • 喫茶店でご当地カレーを販売	× ※未整備	○ • 周辺の戦争遺跡を巡るツアー • カフェで加西産の食材を使った料理を提供	△ ドラえもんや名探偵コナン等、子供をターゲットにしたイベント開催実績が多数
	レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能	○ カフェ機能有	○ カフェスペース、遊具等のこどもの滞在スペース、会議スペース等が整備	○ カフェ、多目的室、エントランス広場、キャノピー広場等	○ カフェ機能有
地域の防災拠点づくり	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	× 浜松市にて、避難所の指定なし	× 小松市にて、避難所の指定なし	○ 防災備蓄倉庫を併設	× 三沢市にて、避難所の指定なし

※施設や機能としての充実度について、◎→○→△→×にて優先順位付け

いずれの施設においても、インバウンド含む観光客をターゲットに設定していない。収益源は飲食・物販による収入を主とし、施設特性に応じ、入場料・イベント参加費を徴収している

参考事例における機能・施設比較（3/5）

第2回策定委員会資料より抜粋

	導入機能等	浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	青森県立三沢航空科学館
ターゲット	地域住民、家族連れ	◎	○	○	○
	小中学校等の課外学習	◎	○	-	○
	インバウンド含む観光客 (外国語対応等なし)	- (外国語対応等なし)	- (外国語対応等なし)	- (外国語対応等なし)	- (外国語対応等なし)
収益源	利用料金収入*入場料	-	-	○	○ ※18歳未満及び学生は無料
	イベント収入	-	○	○	○
	飲食・物販による収入	○	○	○	○

※ターゲット及び収益源は有無を記載

呉史料館はPFI手法を用いて整備・運営等を推進していることもあり、施設コンセプトが明確である。りっくんランドも陸上自衛隊への理解促進を目的とした機能が主となっている

参考事例における機能・施設比較（4/5）

	導入機能等	りっくんランド	海上自衛隊呉史料館	知覧特攻平和会館
事業主体	所有	防衛省	防衛省	南九州市
	運営等	防衛省	代表企業：丹青社 構成員：NECキャピタルソリューションズ、 日立ビルシステム	南九州市
事業手法		公共発注 + 直営	PFI（BTO方式→RO方式） 民間導入可能性調査委託先選定中	公共発注 + 直営（業務委託）
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	×	×	×
	水と緑の憩いの場としての機能	※未整備	※未整備	※未整備
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	○	◎	×
		・ シミュレーター、VR体験、3Dシアター等多種多様なコンテンツを提供 ・ 基地での戦車乗車体験等はあるものの、現隊員との交流等は見られない	・ 潜水艦と掃海を展示する史料館 ・ 海上自衛隊員の教育及び、広く国民一般等への広報活動により海上自衛隊に対する理解の促進並びに地域との共生に貢献する施設	※未整備
	基地機能に係る様々な情報の理解の場としての機能	◎	◎	◎
		・ 振武臺記念館、歴史等各種資料を多数展示	同上	・ 遺品や各種資料の展示有 ・ 桶川飛行学校平和祈念館への出張講話、ふるさと納税クラウドファンディング等、歴史を語り継ぐ取組有

自衛隊の広報等機能や歴史等の展示機能を主とした施設であるため、カフェ等の滞在機能や観光交流機能は最小限となっている。知覧特攻平和会館は外国人観光客による利用も確認できる

参考事例における機能・施設比較（5/5）

	導入機能等	りっくんランド	海上自衛隊呉史料館	知覧特攻平和会館
市民との交流 員などの交流 の場づくり	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	○ ・ 陸上自衛隊を主テーマとした展示、イベントを実施	○ ・ 海上自衛隊を主テーマとした展示、イベントを実施	×
多様な人々を迎える場づくり	観光交流を支援する機能 魅力を発信する機能	× ※未整備	× ※未整備	○ 戦争史跡を巡るタクシーツアーを企画
	レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能	× ※未整備	○ カフェ機能有	×
災拠点の防 ぐり	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	× 朝霞市にて、避難所の指定なし	× 呉市にて、避難所の指定なし	×
ターゲット	地域住民、家族連れ 小中学校等の課外学習	○ ○	○ ○	○ ○
	インバウンド含む観光客	— *9月開催のヘリコプター体験搭乗イベントは日本国籍取得者のみ対象	— (外国語対応等なし)	○ 外国人観光客の感想をHPに掲載
収益源	利用料金収入*入場料 イベント収入 飲食・物販による収入	— ○ ○	— イベントの参加費は基本的に無料 ○	○ — イベントの参加費は基本的に無料 —

*施設や機能としての充実度について、◎→○→△→×にて優先順位付け、ターゲット及び収益源は有無を記載

本事業の事業特性を考慮すると、施設規模や導入機能等でsoraかさいが、航空機展示方法や導入コンテンツ等で浜松エアパークが類似している

参考事例調査における本事業へのポイント等

施設名	新交流拠点との類似性				本事業への汎用性	
	立地・アクセス	延床面積	主たる導入機能・利用イメージ	民間活力	参考度	参考となるポイント等
航空自衛隊浜松広報館エアパーク	△	-	◎	×	◎	<ul style="list-style-type: none"> 航空自衛隊の広報施設 面積規模は異なるものの、配置方法や導入コンテンツは要参照
	JR浜松駅から車で20分程度	確認できず 敷地面積約2.5ha	空自の歴史、航空機の展示、フライトシミュレーター有	防衛省運営		
石川県立航空プラザ	△	×	○	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の展示 子どもをターゲットにした機能として遊具の設置
	JR小松駅より車で10分程度	約6,000m ²	政府専用機含む航空機の展示、フライトシミュレーター、遊具有	三セクが指定管理者		
soraかさい	△	○	◎	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模、導入機能等で類似 航空機のコンパクトな展示、エントランス含めた空間構成、防災機能
	JR河合西駅より車で10分程度	1,156m ²	空自の歴史、航空機の展示、周辺施設活用の観光ツアー有	民間が指定管理者		
青森県立三沢航空科学館	○	×	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 航空産業に関連した機能を整備 飲食物販商品の種類やイベントが多種多様
	三沢駅から車で15分程度	10,840m ²	自衛隊関連ではなく科学館 ドラえもんやプラレールとのコラボ	民間が指定管理者		
りっくんランド	×	△	△	×	△	<ul style="list-style-type: none"> 陸自の歴史展示 展示スペース、イベントスペース、売店等の機能配置や空間構成
	東京都内からアクセス可	2,400m ²	陸自、歴史や戦車、専用トラック等の展示、関連イベント有	防衛省運営		
呉史料館	×	×	△	◎	△	<ul style="list-style-type: none"> 海自の歴史展示 中国四国防衛局による、PFI手法の導入
	JR呉駅から徒歩3分	3,600m ²	海自、歴史や掃海艇、潜水艇等の展示、関連イベント有	PFI手法活用		
知覧特攻平和会館	○	×	○	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設が有する歴史や経験等を引き継いでいく取組有 外国人観光客による利用が確認
	JR喜入駅より車で20分程度	3,193m ²	自衛隊発足以前の戦闘機・歴史展示有、ツアー等も実施	自治体からの業務委託		

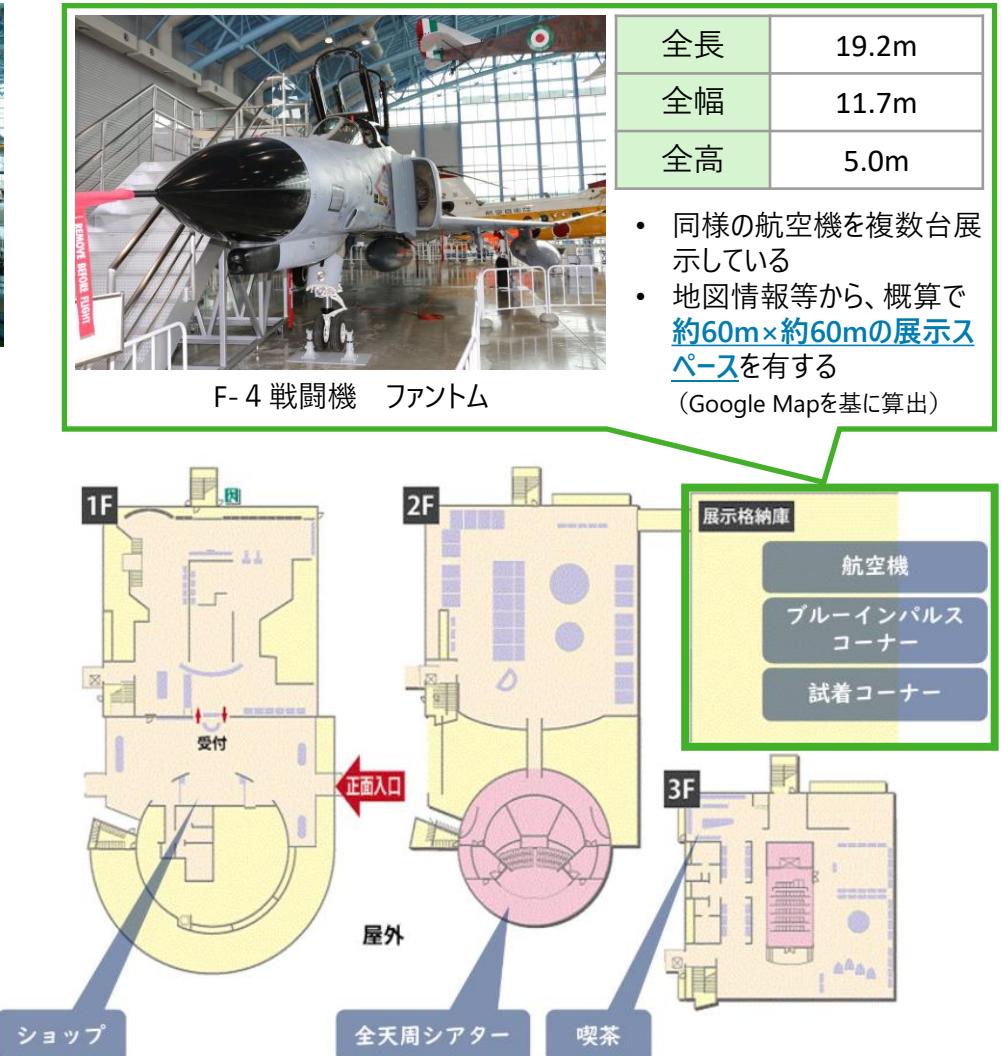
航空自衛隊への理解促進を目的として、広大な面積を生かした航空機の実機展示を中心とし、多様な機能を導入し、地域の賑わいの拠点になっている

参考事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 概要

第2回策定委員会資料より抜粋



自治体	静岡県浜松市（防衛省所有）
施設機能	展示機能、映像シアター機能、飲食・休憩機能
施設構成	<ul style="list-style-type: none">屋外展示場屋内展示エリア：全天周シアター、ミュージアムショップ、簡易シミュレーター、喫茶店、キッズコーナー、展望エリア、図書コーナー展示格納庫：実機展示、VR飛行疑似体験
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none">観光（家族連れ）校外学習（未就学児・小中学生）
管理運営	<ul style="list-style-type: none">航空自衛隊浜松基地第1航空団司令部監理部売店及び喫茶店は、民間事業者を公募（行政財産の使用許可）
面積	<ul style="list-style-type: none">敷地面積：約25,000m²
料金	<ul style="list-style-type: none">無料



航空自衛隊への理解促進を目的とした展示機能、体験型の要素や飛行場と隣接している立地を生かした機能、滞在空間としての機能を導入することで賑わいを創出している

参考事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 利用イメージ

第2回策定委員会資料より抜粋

資料展示機能



展示資料館2Fの航空機模型

航空自衛隊の任務や役割、装備品等に関する資料を展示

体験型展示機能



VR飛行疑似体験コーナー

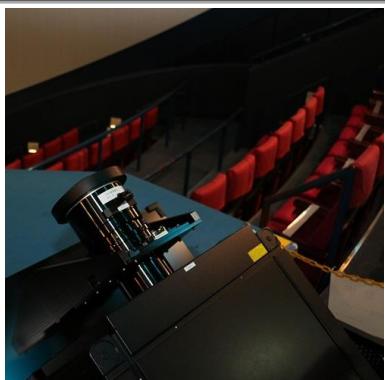


簡易版フライトシミュレーター

映像シアター機能

--OPEN--

9：30～ 運ぶという使命（輸送機部隊）
10：30～ 強い翼（戦闘機部隊）
11：30～ 空自最強教導部隊（航空戦術教導団）
13：30～ Challenge for the Creation
(ブルーインパルス)
14：30～ 空自最強教導部隊（航空戦術教導団）
15：20～ 最後の砦（航空救難団）



シアター上映内容（例）

航空自衛隊に関する映像を、
ドーム型シアターで体験できる

全天周シアター内部の様子

飲食・休憩機能



喫茶スカイラウンジ Fuji 浜松飛行場を望むカフェ



屋外休憩スペース 浜松基地に隣接しており、 航空機の離着陸を撮影可能

航空自衛隊への理解促進を目的としたイベントに加えて、子どもをターゲットとしたイベントを多く開催しており、家族連れが楽しく学べるような施設を目指していると考えられる

参考事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 開催イベント

第2回策定委員会資料より抜粋

令和7年度イベント開催予定

月	日	曜	イベント	開催状況等
4	20	日	警備犬の訓練展示	終了
4	27	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
5	5	月	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
5	下旬	日	航空管制基礎講座	中止
6	上旬	日	気象基礎講座	中止
6	28	土	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
7	22, 23	火, 水	夜間開館（ライトアップ）	終了
7	26	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
8	3	日	操縦基礎講座	終了
			F-15 戦闘機展示イベント	終了
8	10	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
8	17	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
8	24	日	エンジン基礎講座	開催予定
			T-400 練習機展示イベント	開催予定
8	25, 26	月, 火	夜間開館（ライトアップ）	開催予定
8	31	日	エンジン基礎講座	開催予定
			F-2 戦闘機展示イベント	開催予定
9	27	土	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
10	19	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
11	30	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
12	21	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
1	中旬	日	中部航空音楽隊コンサート	調整中
2	22	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定

注：天候や器材、支援部隊の状況により急遽中止となることがあります。

缶バッジ・ぬり絵製作

- 広報館が用意した絵デザインをもとにぬり絵を行い、縮小コピーしてオリジナル缶バッジを作成
- 広報館が事前に用意した6種類の缶バッジから選ぶことも可能
- [小学生以下の子どもが対象](#)
- 参加費は無料



基地警備犬の訓練展示

- 基地警備犬の訓練を展示
- 訓練展示後の缶バッジ配布においては、[子どもに優先して配布](#)



↑ 基地警備犬

← イベント案内

2. イベント案内

イベント	内容	時間（基準）	場所
警備犬の訓練展示（雨天時は、警備犬の展示に変更）	警備犬1頭とハンドラーによる訓練展示（雨天時は、警備犬の展示）	午前 11:15～11:30	屋外展示場 (雨天時は展示格納庫)
	※各回訓練展示終了後、缶バッジを配布する予定	午後 15:15～15:30	

※見学されたお子様の来場者を優先して配布します。

開催イベント

- [子ども（子連れの家族）をターゲット](#)にしたイベントを多く開催
- 通常のイベントにおいても、[こどもへの特典や配慮](#)が見られる
- [航空自衛隊の理解促進](#)を目的とした一般イベントも多く開催

浜松広報館エアパークの視察結果を整理した

浜松広報館エアパーク視察結果

	内容
施設規模	<ul style="list-style-type: none">敷地面積は約24,000m²、建築面積は約4,000m²、延床面積は約8,000m²である。駐車場は、一般車両駐車場（146台分）とバス駐車場（17台分）から構成されている。3Fの視聴覚室は45名を収容可能であり、備え付けのプロジェクターを利用して研修など多目的に利用できる。
建設背景	<ul style="list-style-type: none">浜松広報館エアパーク開館以前は、市民から航空自衛隊の活動に対して十分な理解を得られておらず、入隊希望者も少なかったため、航空自衛隊の広報機能を集約した施設の設置が企図された。設置場所の選定においては、航空自衛隊の発祥の地であり、日本列島の中心部に位置していることや、航空自衛隊の中で展示物の制作を行う部隊が駐屯していたことから、浜松が選ばれた。施設構想の策定に約2年、地盤調査や展示物の検討に約1年、施設の建設に約1年以上を要し、構想から5年～6年をかけて、1999年の4月に「航空自衛隊浜松広報館エアパーク」が開館した。
運営	<ul style="list-style-type: none">施設の運営は、<u>航空自衛隊員による直営</u>で行われており、<u>駐車場の交通整備や施設内清掃等の一部業務を外部に委託</u>している。航空自衛隊の広報機能としての役割に主眼を置いていたため、<u>入場料は無料</u>となっており、展示物の維持管理費等は全て国費により賄われている。また、施設内に設置されているカフェや売店も外部委託により運営されているため、基本的に収益源は無い状態である。
イベント	<ul style="list-style-type: none">イベントの企画は<u>年間単位</u>で行い、<u>月に1回～2回</u>開催している。主なターゲット層は家族連れや大学生、社会人であり、<u>時期によって来館者層が異なるため、それに合わせた企画を開催</u>している。例えば、夏季休暇や夜間開館の際には航空自衛隊に興味がある学生や社会人が多く来館するため、関連知識をテーマとした基礎講座を開講している。一方で、休日は家族連れが多く来館するため、バッジ制作イベント等の子供向け体験型イベントを開催している。ターゲットの選定においては<u>施設の立地や想定される交通手段を考慮することが重要</u>であり、エアパークは駅から離れていることから、車で来館できる家族連れや学生、社会人をターゲットとする一方で、車で来館できない中高生はメインターゲットがら外している。

航空プラザはグライダーからジェット機まで揃った航空機の博物館で、航空機の歴史・実機の展示・シミュレーター体験などいろいろな角度から航空文化が楽しめる施設となっている

参考事例：石川県立航空プラザ | 概要

第2回策定委員会資料より抜粋



自治体	石川県小松市（石川県所有）
施設機能	展示機能、会議室貸出機能、飲食・休憩機能
施設構成	展示エリア、屋内遊具広場、カフェ、ショップ、会議室、研修室
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none">観光（家族連れ）航空実験教室（小学生対象）会議・研修等での利用
管理運営	<ul style="list-style-type: none">指定管理者制度：（公財）小松市まちづくり市民財団カフェクルーズの運営は指定管理業務外
面積	<ul style="list-style-type: none">敷地面積：16,288m²延床面積：6,018m²
料金	<ul style="list-style-type: none">入場無料一部機能（シミュレーターや会議室等）は、別途利用料が必要



1F 実機展示場



1F 屋内遊具広場



1F フロアマップ

航空機の展示・体験機能や遊具等による滞在空間、会議スペース等が整備されている

参考事例：石川県立航空プラザ | 利用イメージ

第2回策定委員会資料より抜粋

資料展示機能



2F展示場

航空機の歴史や仕組み、飛行の原理等を解説

政府専用機の実機展示

2019年3月まで政府専用機として活動

体験型展示機能



YS-11フライトシミュレーター



簡易版フライトシミュレーター

会議室貸出機能



研修室

講義形式で最大54名収容可能
団体利用貸出や実験教室の開催



会議室

円卓形式で最大16名収容可能

飲食・休憩機能



コーヒーショップ クルーズ

売店も兼ねており、グッズ等を販売



屋内遊具広場

屋内広場であり、天候を気にせず遊べる

航空機の飛行原理を学ぶことができる航空実験教室を実施していますが、その他自衛隊や基地等の関連するイベントの開催情報は確認できない

参考事例：石川県立航空プラザ | 開催イベント

第2回策定委員会資料より抜粋



航空実験教室の様子

航空実験教室

- ・ 航空機の飛行原理について、実験やワークを通して楽しく学ぶ
- ・ 小学生を対象に、平日のみ実施
- ・ 小学校や児童クラブ等の団体利用を誘致
- ・ 定員は20名、参加費は200円/人、所要時間は約1時間

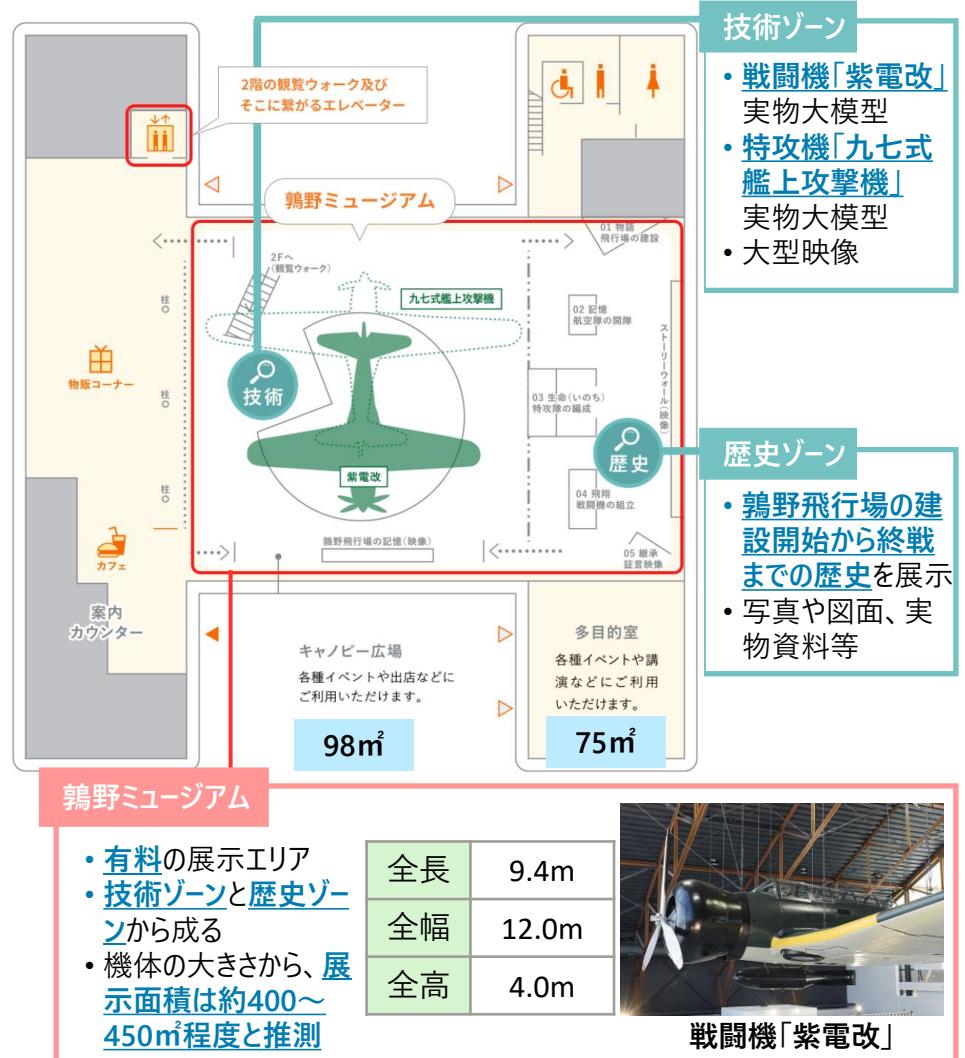
soraかさいは、戦争の史実を伝える鶴野ミュージアムを中心として、滑走路跡や戦争遺跡周遊のための交流拠点としての役割を担うべく整備された

参考事例：soraかさい | 概要



自治体	兵庫県加西市（加西市所有）
施設機能	展示機能、飲食・休憩機能、空間貸出機能、ツアーミッション
施設構成	鶴野ミュージアム、カフェ、物販コーナー、多目的室、広場
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 観光（家族連れ） イベント開催（多目的室や広場の貸出） 鶴野戦跡ツアー参加
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度：神姫バスグループ共同事業体（代表企業：神姫バス株式会社） カフェ運営も指定管理者が行う
面積	<ul style="list-style-type: none"> 延床面積：1,156m²
料金	<ul style="list-style-type: none"> ミュージアムは入場料200円/人（中学生以下無料） その他エリアは入場無料

第2回策定委員会資料より抜粋



soraかさいは、戦争に関する資料展示機能に加えて、カフェの運営やイベントスペースの貸出を行っており、地域の賑わいを創出している

参考事例：soraかさい | 利用イメージ

第2回策定委員会資料より抜粋

資料展示機能

技術ゾーン
戦闘機の実物大模型などを展示

歴史ゾーン
鶴野飛行場の歴史資料を展示

飲食・休憩機能

Soraカフェ&ショップ

Sora
照り焼きバーガー

鶴野サイダー

空間貸出機能

キャノピー広場 (98m²)
イベントスペースとして貸出

多目的室 (75m²)
イベントや講演の際に貸出

ツアーミニ

防空壕跡
Soraかさい周辺の戦争遺跡の1つ

グリーンスローモビリティ
鶴野戦跡を巡る際に利用する
電気自動車

soraかさいでは、周辺の戦争遺跡を巡るツアーや市民イベントが開催されており、地域の賑わいを創出している

参考事例：soraかさい | 企画

第2回策定委員会資料より抜粋

鶴野フィールドミュージアム

■ 巨大防空壕シアターの観覧ツアー

- 鶴野フィールドミュージアムの**巨大防空壕跡を利用したシアター**
- 姫路海軍航空隊の特別攻撃隊「白鷺隊」の隊員の遺書**を紹介する映像を展示
- シアターチケット（500円）またはsoraかさいで発行された**レシート（1000円分以上）**を持参することで、観覧できる



防空壕シアター

イベントスペース貸出

■ Sora傘いアート

- 地元中学生が中心となって開催準備**を進めたアートイベント
- 市外の学生とも協力**して、チラシやバナー広告を作成
- Soraかさいで販売する**カラビニール傘**に好きなイラスト等を描き、「紫電改」を彩る
- 紫電改をカラフルに彩ることで、**町が平和になったことを伝える**



イベントの様子

■ SORASIDO PARK

- 加西市を中心活動する地域商社「Harima Creative」が開催した**大型キッズフェス**
- ストライダーやbingo大会等の**子どもが楽しめるイベント**を多数開催
- 農家が直売する青空市や地元のアウトドアメーカーの販売会、ふるさと納税ブースなど、地域活性化に貢献**
- 入場料は無料



イベントの様子

■ 鶴野戦跡ガイドツアー

- Soraかさい周辺の戦争遺跡**をグリーンスローモビリティで巡るツアー
- 観光ガイド**が同乗し、各ポイントを説明
- 戦跡ツアー後、**soraかさい館内のガイドツアー**も含まれる
- 事前予約制だが**参加費は無料**



グリーンスローモビリティ
(電気自動車)

航空産業に関連した展示を軸としつつ、幅広いニーズに応えうる機能を盛り込むことで、地域の賑わいを創出している

参考事例：青森県立三沢航空科学館 | 概要

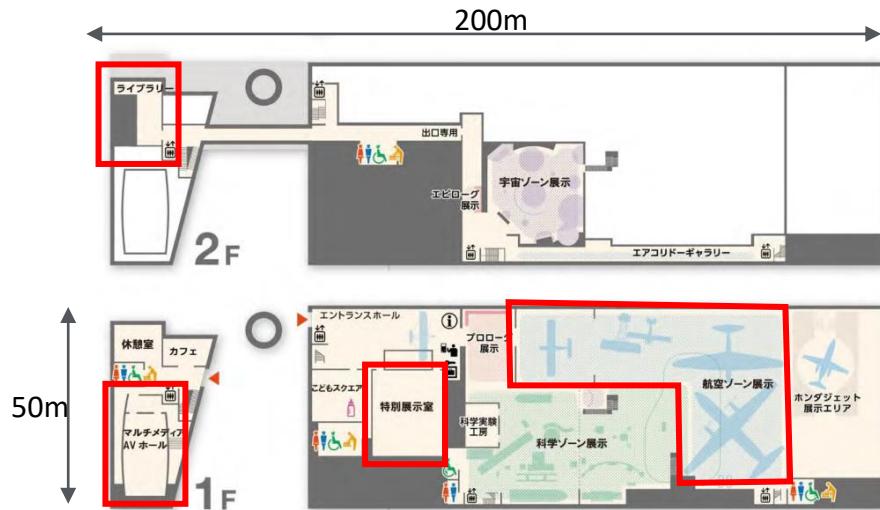


自治体	青森県三沢市（青森県所有） ※三沢市が県へ施設建設要望、県が整備
施設機能	展示機能、映像ホール機能、飲食・休憩機能、情報サービス機能、イベント機能、物販機能
施設構成	展示エリア、映像ホール、科学実験工房、ライブラリー、こどもスクエア、カフェ、展望デッキ、ショップ
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 観光（家族連れ） 校外学習（未就学児・小中学生） 人材育成研修（学校・保育園・児童館・科学館等の職員候補生）
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度：ジャンプアップみさわ 代表団体：育栄管財（株）*、構成員：NPO法人テイクオフみさわ*（カフェ運営）、乃村工藝社）*は三沢市企業
面積	<ul style="list-style-type: none"> 延床面積：10,840m² 展示面積：6,511m²
建設費	7,358,905（千円）
料金	一般：700円、18歳未満高校生以下：無料



資料展示機能に加えて、映像シアター機能や情報サービス機能を導入することで、航空産業知る動機付けのための様々な工夫が施されている

参考事例：青森県立三沢航空科学館 | 利用イメージ（1/2）



情報サービス機能

ライブラリー

- 一人あるいはグループによる調べ学習や自由研究等での利用を想定
- 図書の他にも、ビデオやDVDを観ることができるビデオライブラリーも存在

資料展示機能

ミス・ビードル号

特別展示室
企画展の開催や学校団体利用時のワークショップ会場等の用途で利用

映像シアター機能

マルチメディアAVホール

- オリジナルのハイビジョン映像「ミス・ビードル号の大冒険」を上映
- 科学実験やイベント開催等にも利用できる多目的ホール

飲食・休憩機能や物販機能を導入することで、利用者が楽しくくつろげる滞在空間を創出している

参考事例：青森県立三沢航空科学館 | 利用イメージ（2/2）



科学実験や科学工作の機会を提供する科学イベントに加えて、様々な分野とのコラボイベントを開催し、子どもが科学に興味を持つきっかけとなる機会を提供している

参考事例：青森県立三沢航空科学館 | 開催イベント

コラボイベント

■ 国民的アニメとのコラボイベント



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

- アニメ「ドラえもん」とコラボしたプラネタリウムを上映し、子どもが科学に興味をもつきっかけになるようなイベントを企画
- 入場料を大人400円、小・中・高生200円、未就学児無料に設定し、子どもや学生をターゲットにした値段設定

■ 航空産業や宇宙産業以外とのコラボイベント

- 食品サンプルとコラボした展示を行い、幅広い客層から集客
- リピート客が飽きずに楽しめるように、イベントや企画展を定期的に開催



科学イベント

■ 科学実験工房

- 展示エリアに隣接して設けられた科学実験工房で、サイエンスショー・月替わりワークショップ・ブチワークショップを開催
- 子どもたちが体験を通して様々な科学現象を理解できるような機会を提供



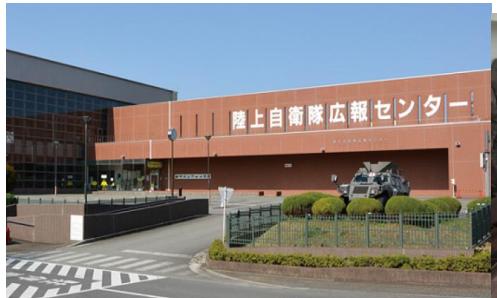
■ アウトリーチ活動

- 科学館から遠く離れた地域や来館が困難な学校を対象に、科学実験や科学工作の出前講座を実施
- 科学館の目的である「青少年の科学する心を育む」の実現に向けた活動として、青森県内各地で開催

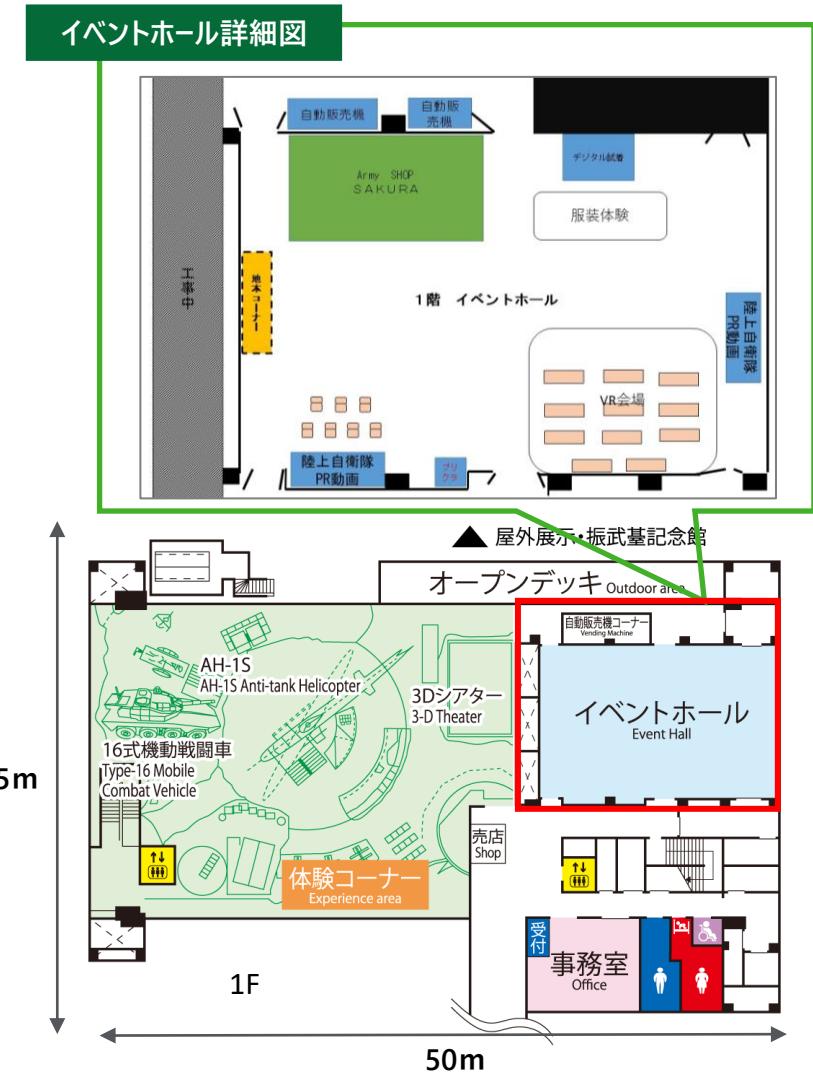


陸上自衛隊への理解促進を目的として、戦闘車やヘリコプターの実物大模型の展示をメインに多様な機能を導入し、地域に賑わいを創出している

参考事例：朝霞市陸上自衛隊広報センター りっくんランド | 概要

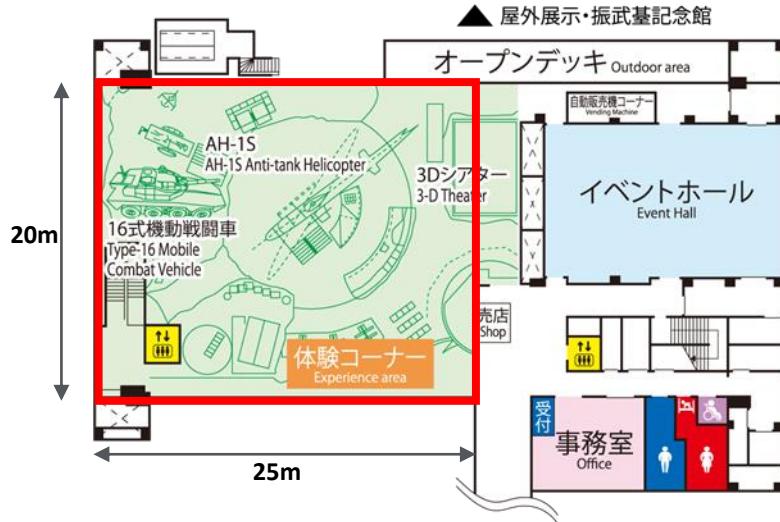


自治体	埼玉県朝霞市（防衛省所有） *2025年9月から令和8年3月、改装工事中
施設機能	展示機能、映像シアター機能、物販機能
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> 展示エリア：資料展示、体験コーナー 3Dシアター イベントホール：売店、VR会場、PR動画
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 観光（家族連れ） 校外学習（未就学児・小中学生）
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 陸上自衛隊東部方面隊 売店は、朝霞防衛共販（株） (行政財産の使用許可)
面積	<ul style="list-style-type: none"> 延床面積：2,400m² 陸上自衛隊朝霞駐屯地内に位置する (駐屯地の面積は約90万m²)
料金	<ul style="list-style-type: none"> 無料



戦闘車やヘリコプターの実機模型に加えて本格的な体験型展示も導入し、陸上自衛隊に興味を持ってもらえるような仕組みが充実している

参考事例：朝霞市陸上自衛隊広報センター りっくんランド | 利用イメージ（1/2）



展示スペースの面積感

- 約20m×約25m = 約500m²と推測される。（Google mapより算定）
- 参考として、16式機動戦闘車のサイズ感は表のとおりである。



全長	8.45m
全幅	2.98m
全高	2.87m

16式機動戦闘車

16式機動戦闘車 サイズ表

資料展示機能



対戦車ヘリAH-1Sコブラ



陸上自衛隊の歴史展示
壁に説明文を張り付ける形で
展示

体験型展示機能



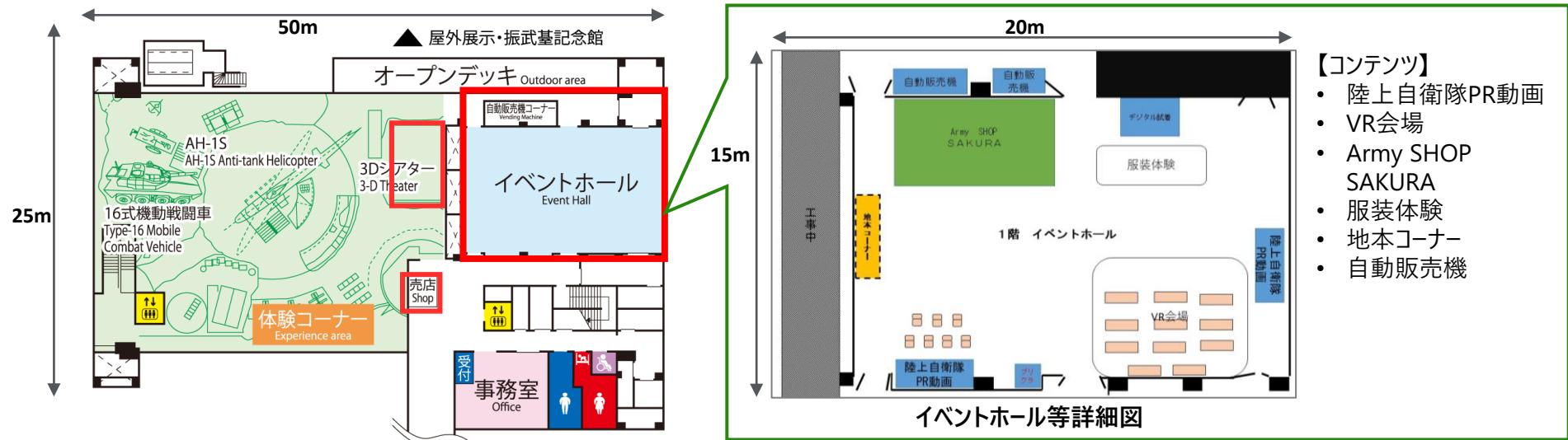
ヘリコプター操縦体験
フライトシミュレーター



VR体験
戦車・水陸両用車等の議事乗車体験や空挺降下体験

自衛隊の訓練風景の3D映像や自衛隊グッズの販売など、陸上自衛隊に関するコンテンツが充実している

参考事例：朝霞市陸上自衛隊広報センター りっくんランド | 利用イメージ（2/2）



【コンテンツ】

- 陸上自衛隊PR動画
- VR会場
- Army SHOP SAKURA
- 服装体験
- 地本コーナー
- 自動販売機

映像シアター機能



3Dシアター

陸上自衛隊に関する映像を、
3Dシアターで体験できる

【上映内容】

- 迫力満点の3D映像を、1日に4回上映
- 陸上自衛隊の訓練等の様子を鑑賞することができる
- 陸上自衛隊のレンジャー養成訓練など



物販機能



Army SHOP SAKURA
陸上自衛隊関連のグッズ等を販
売する売店



自衛隊関連グッズ

当該施設が陸上自衛隊朝霞駐屯地内に位置する立地特性と広大な敷地面積を生かし、陸上自衛隊に興味を持つてもらえるような特別な体験を提供している

参考事例：朝霞市陸上自衛隊広報センター りっくんランド | 開催イベント

サマーフェスタ（季節イベント）

■ 搭乗体験イベント

- 73式大型トラックは、人員及び物資輸送に用いられるキャブオーバー トラック
- 自衛隊の73式大型トラックに乗って、朝霞駐屯地内をドライブできる
- 自衛隊基地とのコラボならではのコンテンツ



73式大型トラック

■ 戦闘糧食の体験喫食

- 自衛隊の隊員が食べている非常用食料を食べる体験ができる
- なりきり体験要素のイベント



戦闘糧食

■ 装備品の特別展示

- 重曹輪車の荷台部分に最大6発のミサイル入りコンテナを搭載する自走式の中距離地対空誘導弾を見学可能
- 迷彩服着用体験も可能であり、なりきり体験要素のイベント



03式中距離地対空誘導弾

乗車体験イベント

■ 戦車乗車体験

- 普段の展示では体験できない走行中の戦闘車に乗車可能
- 抽選販売を行うほど人気
- 陸上自衛隊基地に隣接する立地と広大な敷地面積を生かしたイベント



■ UH-1J（ヘリコプター）乗車体験

- 普段の展示では体験できない飛行中のヘリコプターに乗車可能
- 日本国籍をもつ小学生以上の人のみが参加可能
- 自衛隊広報センターならではのインパクトのあるイベントであるが、自衛隊基地近隣の施設であれば実施可能と思われる



呉史料館は、海上自衛隊員の教育及び、広く国民一般等への広報活動により海上自衛隊に対する理解の促進並びに地域との共生に貢献することを目的とした施設である

参考事例：海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館） | 概要



自治体	広島県呉市（防衛省所有）
施設機能	展示機能、飲食・休憩機能、物販機能
施設構成	<ul style="list-style-type: none">1F：カフェ、ショップ、展示（海上自衛隊の歴史）2F：展示（掃海艇の活躍）3F：展示（潜水艦の活躍）、潜水艦あきしお搭乗体験コーナー
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none">観光（家族連れ・外国人）校外学習（未就学児・小中学生）
管理運営・事業背景	<ul style="list-style-type: none">PFI-BTO方式により整備・運営された施設の、改修及び維持管理を<u>PFI-RO方式</u>により実施、<u>代表：日立製作所、構成員：丹青社、日立ビルシステム</u>上記事業終了後、展示物等更新、維持管理運営業務を公募、代表：<u>丹青社、構成員：NECキャピタルソリューションズ、日立ビルシステム</u>が選定並行して、PFI手法活用に向けた<u>民間導入可能性調査委託先を公募中</u>（2025年7月公示）
面積	<ul style="list-style-type: none">敷地面積：3,247.52m²、建築面積：1,663.26m²、延床面積：3,600.56m²
料金	<ul style="list-style-type: none">無料

海上自衛隊呉史料館の事業目的及び基本コンセプト

事業の目的

海上自衛隊呉史料館は、[海上自衛隊佐世保史料館](#)の水上艦、[鹿屋航空基地史料館](#)の航空機と並んで、潜水艦と掃海を展示する史料館です。

海上自衛隊の有する資料の展示・保存等を通じて、海上自衛隊員の教育及び、広く国民一般等への広報活動により海上自衛隊に対する理解の促進並びに地域との共生に貢献することを目的としています。

史料館の基本コンセプト

○ 海上自衛隊の歴史がわかる史料を展示

[潜水艦の発展と現況](#)や[掃海艇の戦績と活躍](#)等に関する歴史的な展示資料を通して、海上自衛隊の歴史を紹介するとともに、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介する史料館をめざしています。

○ 海上自衛隊の活動に対する理解の促進

最近まで使用していた実物の資料を展示する一方、インターネットによる情報発信にも力を入れることで、広く国民一般に知られていない海上自衛隊の潜水艦部隊及び掃海部隊の活動内容を分かり易くアピールするとともに、海上自衛隊に対する理解を促進する史料館をめざしています。

○ 実物の潜水艦に乗艦し、見て体感

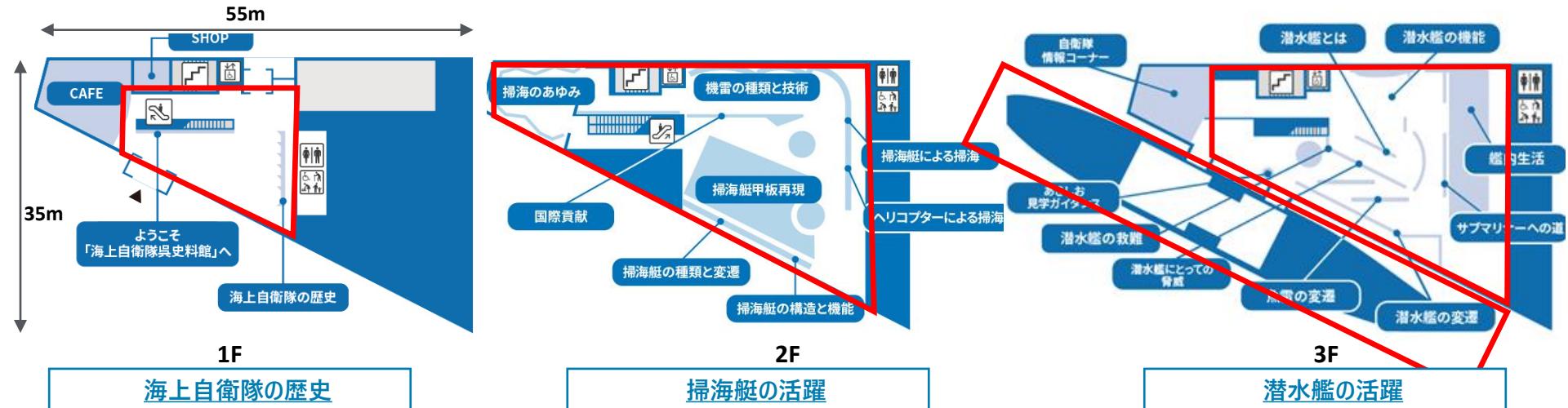
用途廃止済の実物潜水艦を展示することにより、実物の潜水艦に乗艦し、その内部を見て、体感する貴重な体験ができる史料館をめざしています。

○ 地域との共生

海上自衛隊員への教育及び、広く国民一般への広報活動の場として品位を有する魅力ある史料館としつつ、呉市の歴史、文化に配慮し、周辺施設との調和を図ることにより、呉市との共生をめざしています。

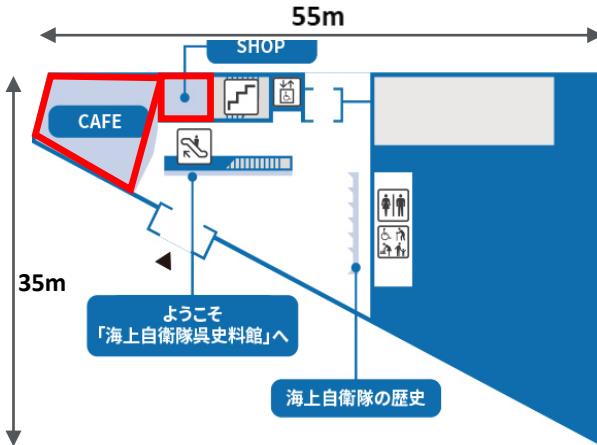
ポスターや部品などの資料展示に加えて、実際に海上自衛隊で活躍していた潜水艦への搭乗体験機能を導入し、海上自衛隊に興味を持つもらう仕組みが充実している

参考事例：海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館） | 利用イメージ（1/2）



海上自衛隊呉資料館オリジナルのメニュー やグッズを提供し、海上自衛隊に親しみが感じられるような工夫が凝らされている

参考事例：海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館） | 利用イメージ（2/2）



物販機能

JMSDF SHOP
オリジナルグッズや自衛隊グッズ、
呉のお土産品等を販売

青迷彩ブッシュハット

海軍カレー

呉氏ミニタオル

飲食・休憩機能

JMSDF CAFE
あきしお第10代艦長認定の「あきしおカレー」などのオリジナルメニュー や、呉の名物 を提供するカフェ

DRINK MENU	FOOD MENU
レギュラーコーヒー	400円
紅茶	400円
チーフのラムネ	600円
広島レモネード	400円
広島レモンスカッシュ	450円
階級スカッシュ(青りんご/柚子/桃/マンゴー)	450円
アイスカファオレ	450円
アイスコーヒー	400円
アイスティー	400円
アイス烏龍茶	400円
てつくりラムネ	350円
つぶつぶオレンジ	400円
コーヒーフロート	500円
掃海フロート	600円
呉氏のブカブカフロート	650円
いちごみるくフロート	600円
ソフトクリーム(バニラ)	400円
あきしおカレー(数量限定)	1,200円
【土日/長期休暇のみ】★港deハヤシ(数量限定)	1,200円
真鶴監☆ドッグ/呉☆肉じゃがドッグ	600円
ホットケーキ	750円
あきしおパフェ	700円
機雷パフェ	600円
出前ばふえ	600円
★瀬戸内レモンコラフロート	700円

呉氏の
ブカブカフロート

あきしおカレー

広島レモネード

幅広い層の顧客を獲得するためのコラボイベントや子どもが楽しく学べるような体験型のワークショップを開催し、地域の賑わいを創出している

参考事例：海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館） | 開催イベント

令和6年度以降の開催イベント一覧（HPより抜粋）

イベント情報	2025年09月08日	海上自衛隊制服試着体験イベント開催！
イベント情報	2025年06月02日	※終了しました 重ね捺しスタンプラリー開催！
イベント情報	2025年05月25日	特別コラボ展「てつのくじら館と大和ミュージアム」
イベント情報	2025年05月01日	企画展「海自維新」
イベント情報	2025年04月02日	【期間限定展示】機雷解説映像
イベント情報	2025年03月23日	海上自衛隊の日記念イベント開催！
イベント情報	2025年03月17日	※終了しました 開館記念イベント開催！
イベント情報	2024年10月16日	※終了しました 『海洋文化都市くれ海博2024』にブース出展いたします
イベント情報	2024年09月22日	※終了しました 潜水艦ナイトモード開催！乗艦記念スタンプも設置
イベント情報	2024年09月19日	※終了しました 觸れて！聴いて！南極の氷体験 開催！
イベント情報	2024年07月10日	※終了しました 南極に行った先生の南極とくべつ授業
イベント情報	2024年06月24日	※終了しました 重ね捺しスタンプラリー開催！
イベント情報	2024年06月16日	※終了しました 制服試着体験開催！
イベント情報	2024年05月01日	呉地方隊創設70周年記念《特別企画展》「はじまりからいま、そしてこの先へ」
イベント情報	2024年04月13日	※終了しました 海上自衛隊の日イベント開催！

海上自衛隊制服試着体験イベント

- 海上自衛隊の制服を試着することができるなりきり型の体験イベント
- 映画「沈黙の艦隊」の公開を記念して開催された記念イベントであり、「沈黙の艦隊」のファン層の顧客獲得も期待できる
- ターゲットは子どもから大人まで、幅広い層を想定



南極とくべつ授業

- 第65次隊に南極観測隊同行者として参加した広島叡智学園中学校教員の南迫先生を招き、[南極に関する特別授業を開講](#)
- 南極地域のVR体験や南極の氷体験、南極のフォトフレームづくり等、[体験型のワークショップ](#)
- [小中学生がターゲット](#)であり、[子どもが楽しく学べるようなコンテンツ](#)を提供



太平洋戦争の特攻作戦の記憶を風化させず恒久平和に寄与することを目的として、特攻隊に関する資料の展示・保存を行っている

参考事例：知覧特攻平和会館 | 概要

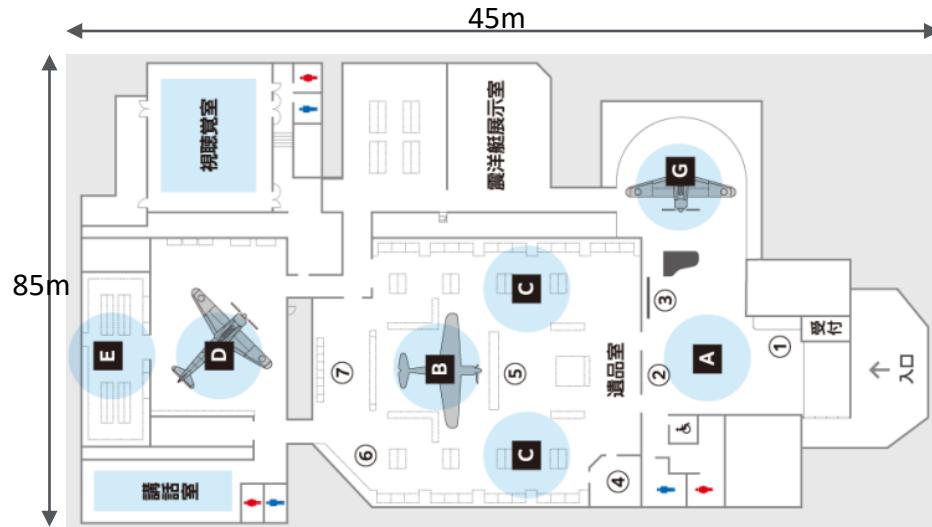


自治体	鹿児島県南九州市（南九州市所有）
施設機能	展示機能、講和会場機能
施設構成	・ 展示エリア、講和室、視聴覚室
利用イメージ	・ 観光（家族連れ・外国人） ・ 校外学習（未就学児・小中学生）
管理運営	・ 特攻平和会館管理組合 (南九州市より業務委託：知覧特攻平和会館条例第11条より)
面積	・ 延床面積：3,193m ² ・ 建築面積：10,298m ²
料金	・ 個人：大人500円/小人300円 ・ 団体：大人400円/小人240円



利用者に太平洋戦争の特攻作戦について知ってもらえるように、特攻隊員の遺品や関係資料等を展示し、講和会場機能も担っている

参考事例：知覧特攻平和会館 | 利用イメージ



太平洋戦争の特攻作戦に関する記憶や資料を保存するため、様々な方法を用いて幅広い世代の人々に特攻について知ってもらう機会を提供している

参考事例：知覧特攻平和会館 | 企画

夏休み自由研究サポートイベント

- 特攻や太平洋戦争に興味を持った子どもたちに、[より深く学べる機会を提供](#)

【特別企画】夏休み自由研究サポートに参加してみませんか？

夏休みは、特攻に関心をもって来館される子どもが多く見られます。そこで、知覧特攻平和会館では、平和会館の学芸員と一緒に学べる「夏休み自由研究サポート」を開催します。質問等も歓迎ですので、自由研究にぜひご利用ください。

○開催概要○

申込期間：各日開催日の3日前まで

実施日：2025年7月26日（土）、7月27日（日）、8月9日（土）、8月10日（日）

時間：13:00～14:30

対象：小6～高3の児童・生徒　ご家族も参加できます（1組5名程度まで）

場所：知覧特攻平和会館 講話室

ふるさと納税の活用

- 室内の設備の老朽化に伴い、

照明器具やAV機器等の改修の資金をふるさと納税で調達

戦後80年 知覧から「特攻」を語り継ぐプロジェクト

カテゴリー：伝統・文化・歴史



寄付額

490,000円

24.5%

目標金額：2,000,000円

達成率

24.5%

支援人数

35人

終了まで

17日 / 90日

鹿児島県南九州市（かごしまけん みなみきゅうしゅうし）

お気に入り

ふるさと納税で応援

←
「ふるさとチョイ
ス」の当該施
設ページより抜
粋

戦跡タクシー観光

- 知覧特攻平和会館の周辺にある戦争史跡を巡るタクシーツアーを企画し、[特攻について実体験を通して学べるパッケージを用意](#)



←特攻平和観音堂

↓全国の遺族等から贈られた灯籠



研修会に参加されたタクシー会社一覧

(※予約や料金などの詳細は、各社にお問い合わせください。)

N-1（エヌワン）タクシー鹿児島

住所 〒891-0122 鹿児島市南栄5丁目10-24

電話番号 0120-54-9696

ホームページ <http://nisikawa.net/n-1taxi>

霧島観光交通株式会社 霧島タクシー

住所 〒892-0847 鹿児島市西千石町1-24

電話番号 099-226-3391

ホームページ <http://kirishima-bus.jp>

ちゃんタクシー

参考事例調査 | 空のえき「そ・ら・ら」

広場の規模やターゲットに合わせて、様々な設備を導入することが可能であり、目的性や収益性の向上を図ることができる

広場機能の整備イメージ

大型複合遊具（道のえき 南ふらの）

- ▶ 全長約20mのローラー滑り台を備える巨大複合遊具
- ▶ 対象年齢は7歳以上であるが、公園内にはほかにも、3歳～7歳を対象とした複合遊具や高校生以上を対象とした健康遊具等、幅広い年齢層に向けた遊具を設置
- ▶ 主に、休日の親子でのお出かけ先としての利用が多く、目的地性の向上に寄与



わんぱくツリーアドベンチャー
(児童用大型複合遊具)

アスレチック（道の駅 川場田園プラザ）

- ▶ 高台に設置された空中アスレチックであり、通常時は1クール50分で定員25名、繁忙期は1クール40分で定員50名を収容可能
- ▶ 子どもから大人まで幅広い年齢層をターゲットとしており、利用料金が大人1,700円、子供1,500円、未就学児1,000円となっている収益施設



HANETTA
(ネットアスレチック)

見守り広場（道のえき 保田小学校）

- ▶ 長径約50m×短径約35mと、そらの太陽の広場よりやや大きい規模の広場（太陽の広場は、直径約35mの円形広場）
- ▶ 円形で見通しが良いため、子供が遊ぶ姿を見守りながらベンチでくつろぐことが可能
- ▶ 幼稚園が隣接しており、ターゲットは3歳～5歳の幼児であるため、遊具の高さを低く設定



みまもりひろば
(楕円形広場)

パークゴルフ（道のえき るもい）

- ▶ 全9コースあり、利用料は無料
- ▶ パークゴルフ用具の貸出を行っているため、気軽にゴルフを楽しむことが可能であり、目的性が高い



出所：道のえき 南ふらのHP、道のえき 保田小学校HP、川場田園プラザHP、道のえき るもいHP

道のえき 南ふらのでは、1つの建物に5つの飲食店が独立して飲食スペースや厨房を構えており、地元食材を使用した料理を中心に提供している

飲食機能の整備イメージ（1/2）

飲食店エリア（道のえき 南ふらの）



- 縦30m×横10mの建物に、5つの飲食店が集積
- 各店舗が独立して飲食スペース・厨房を設置
- 南富良野町特産のエゾ鹿を使用したカツカレー（ピストロ さっちゃん）など、地元食材を使用した料理を中心に提供



お結びと味噌汁
(ほしざわや故郷店)



とんかつ定食
(とんかつ KATUSAI)



エゾ鹿肉のホットドッグ
(Café よりみち)



南富良野町産餅米「はくちょう米」のお餅
(おもちカフェ もちはもち屋)

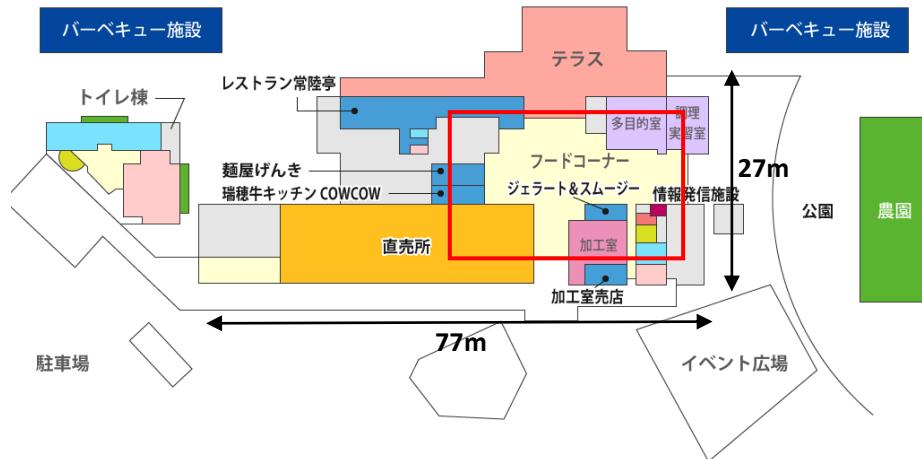


エゾ鹿肉のカツカレー（ピストロ さっちゃん）

道のえき 常陸大宮かわプラザでは、フードコート形式を採用することで、飲食エリアの賑わいを創出するとともに、開放的な滞在空間を提供している

飲食機能の整備イメージ（2/2）

フードコート（道のえき 常陸大宮かわプラザ）



- 共用の飲食スペース（64席）を有するフードコートであり、主に「麺屋げんき」、「キッチンCOWCOW」、「Gelato & Smoothie」の3店舗が立地
- えごまラーメン、瑞穂牛、ジェラートは常陸大宮特産品として市に認証されており、地元食材を使用した料理を中心に提供
- フードコート形式を採用することで、飲食エリアの賑わいを創出するとともに、広いスペースを確保することが可能となるため、開放的な滞在空間を提供できる



えごまラーメン
(麺屋げんき)



瑞穂牛カットステーキ
(キッチンCOWCOW)



常陸大宮市産のえごまのジェラート
(Gelato& Smoothie)

観光案内所では、地域の観光情報に加えて、アウトドア体験プログラムの紹介やふるさと納税の情報発信、サイクリングマップ等、様々な手法を用いて地域の魅力を発信している

観光情報発信機能の整備イメージ

アウトドア体験プログラム紹介（道のえき るもい）

- 観光コンシェルジュが常駐し、留萌市・近隣市町村・稚内を含めた最北端までの観光情報を提供
- 観光コンシェルジュが、るもいエリアのネイチャー情報や留萌の豊かな自然を生かしたアウトドア体験プログラム情報を案内



ふるさと納税の情報発信（道のえき しらぬか恋問館）

- 白糠町の地域情報や観光情報に加えて、ふるさと納税の返礼品紹介を行っている。
- 新鮮な海産物が人気を博しており、2024年ふるさと納税寄附受入額は全国4位となった



出所：道のえき るもいHP、道のえき 保田小学校HP、道のえき しらぬか恋問館HP

サイクリングマップ（道のえき 保田小学校）

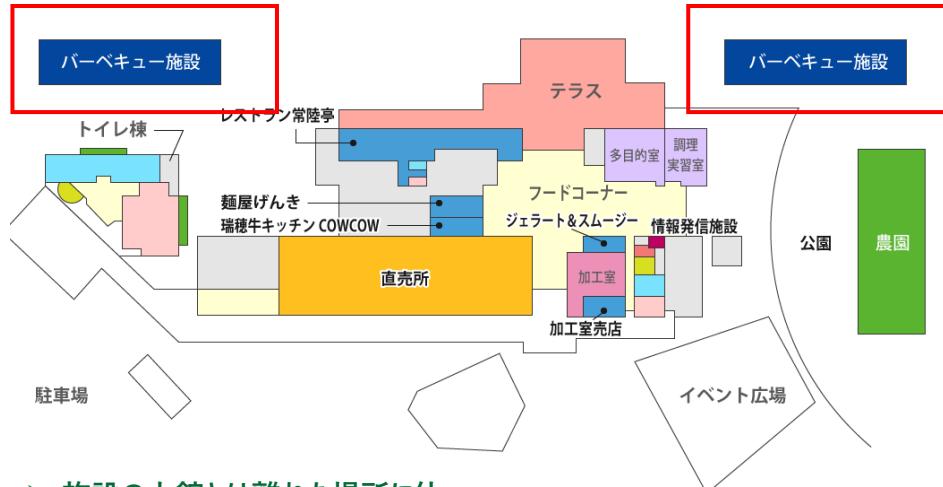


- 道のえき 保田小学校は、そらと同様にレンタサイクル機能を導入しており、1日あたり3,000円で利用可能
- サイクリングマップを発行しており、道のえき 保田小学校周辺エリアのサイクリングコースや観光名所、飲食店が掲載され、地域の賑わい創出に寄与している

道具の貸出や地元食材等の販売を組み合わせることで、手軽にBBQを楽しむことができる施設を整備し、賑わいを創出している

BBQ場の整備イメージ

BBQ施設（道の駅 常陸大宮かわプラザ）



- **施設の本館とは離れた場所に位置し、他機能から独立した空間でBBQ体験が可能**
 - **屋根付きのテーブルとイスのみというシンプルな設備構成**であり、貸出のBBQコソロを利用して調理
 - 網や包丁、まな板等の**備品の貸出**を行っており、**食材や炭も直売所で購入できるため、手ぶらでBBQを利用可能**
 - **直売所で販売されている瑞穂牛や地元野菜をその場でBBQの食材として利用可能**であり、地域の魅力を生かした特別な体験を提供

- BBQ施設（道のえき グランテラス筑西）



- 施設の本館に近い場所に位置しているが、運営事業者が道の駅自体の運営事業者と異なり、他機能との連携は特に見られず、一定程度他機能から独立
 - 食器や調味料、料理器具の貸出がプランに含まれるほか、追加オプションとして飲み放題や地元食材BBQセット等の購入が可能であり、手ぶらで訪れた際にもBBQが可能となっている



駐車場兼イベント広場は、日常的にイベント会場や遊び場として利用可能なアスファルト広場として整備しつつ、大規模イベントの際には臨時駐車場としての利用が考えられます

駐車場兼イベント広場の整備イメージ（1/2）

マルシェ会場



第1回 おみたまマルシェ

- 茨城県の特産品や工芸品を販売するマルシェ会場としての利用
- 現在空港等の周辺施設と連携して開催しているおみたまマルシェのように、仮設テントを設置
- 毎週末に開催するなど、開催頻度を増やし、日常的な賑わいを創出

簡易スポーツスペース

- 移動式のバスケットゴール等の簡易的なスポーツ設備を設置
- 周囲を柵で囲い、地面にゴールエリアの模様を描くだけで、遊ぶことが可能であり、撤去が容易



移動式バスケットゴール

チョークアート広場



チョークアート広場イメージ
(トレッサ横浜)

- こどもが自由にチョークで落書きできるエリアとして開放
- 飲食可能なテラス席等を付設することで、家族連れの滞在空間を創出



飲食テラス席
(Café NIGO, 千葉県)

ドライブインシアター



ドライブインシアター
(長井海の手公園,
神奈川県)

- 大型スクリーンを前面に設置し、車から映画鑑賞ができるイベント
- 音を電波で車に飛ばすため騒音対策が必要なく、そ・ら・らの飲食店との親和性も高い

駐車場兼イベント広場の日常利用方法としては、臨時駐車場としての用途を同時に実現可能なRVパークやコンテナホテルといった宿泊施設としての用途も考えられます

駐車場兼イベント広場の整備イメージ（2/2）

RVパーク

- 日本RV協会に認定された有料の車中泊施設
- 認定を受けるためには、所定の設備条件を満たす必要（右下）
- 認定に際して、初回登録料として30,000円/年、年間登録料として10,000円/年が必要
- 認定を受けると、日本RV協会を通してメディアや公式HP、協会製作の「RVパークリスト」に情報が掲載され、集客力向上
- 道のえき しらぬか恋問館では、宿泊料金2,500円/台を設定し、コインシャワーやコインランドリー、サウナ等の設備を付設



【認定設備条件】

- 広めの駐車スペース（4m×7m以上）
- 24時間利用可能なトイレ
- 100V電源（20A以上推奨）
- 近隣に入浴施設がある（車で15分圏内）
- ごみ処理が可能
- 入退場制限が緩やか
- 指定の看板設置
- 複数日の滞在が可能



コンテナホテル

- 客室コンテナの下にタイヤが付属しており、トレーラーヘッドと接続することで移動が可能なホテル
- ダブルルームが6,200円/泊～となっており、ビジネスホテル等より安価で宿泊可能
- 茨城空港の早朝国際線利用者の宿泊先として、需要が見込める
- 被災地での仮設住宅等に活用されており、災害拠点機能強化も可能



←トレーラーによる牽引

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">臨時駐車場との切り替えが容易そ・ら・らとの親和性が高い収益施設として有効活用が可能	<ul style="list-style-type: none">諸設備の整備が必要需要の有無の調査が必要

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">茨城空港の国際線利用者の短期滞在需要の取り込み収益施設として有効活用が可能	<ul style="list-style-type: none">臨時駐車場への切り替えに際して、牽引等の手間がかかる都度簡易なインフラ工事が必要

出所：道のえき しらぬか恋問館HP、一般社団法人 日本RV協会HP、R9 HOTEL GROUP HP、国土交通省「『道の駅』の機能強化にコンテナ活用へ」